



つきぐみだより 10月



澄み切った青空が広がり、過ごしやすい秋の季節を迎えました。子ども達は、発表会のお稽古を中心に園庭での探索活動や室内での活動を楽しんでいます。そこで、今月のおたよりは、発表会のお稽古の様子や、園内での活動の様子を紹介します。



10月31日は発表会です。つき組最後のパトリアでの大舞台。短いお稽古時間の中で、踊りを覚えたり劇の動きを覚えたり、頑張ってきました。当日は緊張してしまうかもしれませんが、昨年よりも一回り大きく成長した子ども達の姿を温かく見守ってください。

「ウェディング・プリンセス」 真っ白なウェディングドレスに身を包み、ワルツを踊ります。 担当・・・長谷部
「さくらさらさら」 桜の花をもって優雅に舞います。 担当・・・水谷

「リロの歌」 フラの衣装に身を包み、息の合った掛け声にご注目を！！ 担当・・・美香
「花づくし」 花の扇子がひらひらと舞います。 担当・・・石井

「ハロハロ」 男の子8人がMisoraダンスキッズを結成しました。 担当・・・水谷
「日本海」 扇子を持って凛々しい袴姿で踊ります。 担当・・・長谷部

舞踊劇「かぐや姫」 担当・・・長谷部、水谷



今年度もコロナウイルスの影響を考え、劇の中止も考えましたが、子ども達の「やりたい！」という気持ちを汲み取り舞踊劇という形にしました。セリフを覚えて言うことも難しいのですが、曲やセリフに合わせて動作をする事も、子ども達には難しい様でした。お稽古を重ねていくうちに、話の内容を理解し、全体の流れを覚えて自分の役になりきるようになってきました。配役を決める時も、なかなかおじいさんとおばあさん役が決まらず、お稽古に進めず、子ども達同士の話し合いを何度もしました。そんな中、自分の気持ちに折り合いをつけ「私になってもいいよ」「私が別の役でもいいよ」という声が聞こえてきました。「本当にいいの？後でやっぱりせん！とかなるなら、もう少し話し合いをしてもいいよ」と声もかけましたが、「大丈夫、何の役でもお母さんたちが見てくれるから」という返事が返ってきました。本当はなりたかった役があったのに、相手の気持ちも考え、自分の気持ちに折り合いをつけ、ましては応援してくれる保護者の気持ちまで考えられる子ども達に感動しました。そんな素敵なき組20名の舞踊劇「かぐや姫」をお楽しみに！

おねがい

当日の服装は、制服に白の靴下です。

制服の下は、着替えがスムーズにいくように、半袖の肌着を着せてください。



発表会 第1リハーサルの様子



畑に行って、ナス・ピーマンの収穫をしました。大根、ほうれん草、人参を育てています。次の収穫が楽しみです。



10月なのに暑い日が続き、まだまだ泥パンツが活躍中です。



吉田先生に「マサル君とトシコさん」を見せてもらいながら、食育のお話を聞きました。



ラキューは特に男の子に大人気。作り方の説明書を見ながら集中して作っています。



コラージュ制作。「I love ひた」をテーマに作りました。日田駅に飾ってもらう予定です。詳細は後日お知らせします。